

初級、1級、2級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランスについて(案)

平成24年1月20日

東京都スケート連盟フィギュア事業部・強化部

日本スケート連盟より無級から2級までのISUジャッジングシステムのウェルバランスのガイドラインが示されたことを受けて、東京都スケート連盟では2011東京夏季フィギュアスケート・ジュニア競技大会において、初級から2級までの競技についてISUジャッジングシステムを採用しましたが、2012スプリング・トロフィーでは、それを一部修正し、以下のウェルバランスで競技を実施致します。

初級ウェルバランス

演技時間:1分±10秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否:可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシーケンスを1回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。同じ種類のジャンプは2個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

*ダブルジャンプは禁止とする。

*シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素:最大1つまで

1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)レベル1で評価する。

(足換えとフライングは可能・最少5回転)

1級ウェルバランス

演技時間:1分±10秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否:可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシーケンスを1回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。同じ種類のジャンプは2個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

*ダブルジャンプは禁止とする。

*シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素:最大1つまで

1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベルは1で評価する。

(足換えとフライングは可能・最少5回転)

ステップシーケンス:最大1つまで ただし、レベルは1で評価する。

2 級ウェルバランス

演技時間:2 分±10秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否: 可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを2回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。

第二ジャンプは異なる2種類であること。

全てのジャンプ要素において、同じ種類のジャンプは2個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない。(ワルツジャンプもアクセル型です。)

* シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素:最大2つまで

1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベル1 で評価する。

(足換えとフライングは可能・最少5回転)

1つはコンビネーションスピン(足換え自由)ただし、レベルは1で評価する。

ステップシークエンス:最大1つまで。ただし、レベルは1で評価する。

初級、1級、2級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランス Q&A

ジャンプについて

Q1「禁止とされているジャンプを行った場合はどうなりますか？」

A1「禁止のものは、ジャンプとしてカウントされますが、余分な要素となり、無価値の要素になります。認められた範囲で、より質の良いジャンプを行うように努めてください。」

Q2「ワルツジャンプを実施した場合、点数はありますか？」

A2「はい、あります。ワルツジャンプ=1Wの基礎点は0.3点となっています。」

Q3「ステップやトランジションの中等で、前向き踏切の半回転ジャンプが有った場合、どうなりますか？」

A3「ワルツジャンプを要素として認めている以上、ワルツジャンプを行ったものとして認定される場合があります。最終的に、ジャンプの要素数が規定より多い場合、5つ目以降の他のジャンプが余分な要素とされて無価値になりますので、今大会においてはワルツジャンプに似た半回転ジャンプはアクセントや飾りとしても行わないことをお勧めします。」

Q4「コンビネーションジャンプにおいて、3連続ジャンプは可能ですか？」

A4「今大会は不可です。実施した場合にはその要素自体が無価値となります。」

Q5「同じ種類のジャンプは2個まで、というのは2NDジャンプも含まれますか？」

A5「含まれます。1STでも2NDでも同じ種類は2回までです。種類とは回転数に関係なく、A・S・T・Lo・F・Lzの6つのことです。同じ種類のジャンプが3つある場合には、3つ目のジャンプが余分な要素となり無価値となります。（3つ目がコンビネーションやシークエンスの一部にある場合は、この要素自体が無価値となります。」

Q6「ダブルジャンプの回転不足は、アンダーローテーションとダウングレードの両方がありますか。」

A6「あります。不足の程度により、どちらかの判定になります。」

スピンについて

Q1「1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベル1 で評価する。」とはどういう意味ですか？

A1「基本姿勢で3回転回ったと認定されたらレベル1、認定されなかったらノーバリューと言う意味です。レベルを上げる要素を試みてもレベルは1より上がりませんが、GOEで評価はされます。(スピンにおける基本姿勢の習得)」

Q2「2級のコンビネーションスピンは何回転すればいいのですか？」

A2「1種類の基本姿勢をのべ3回転すればレベル1とレベル認定はされます。あとはGOE評価となる」

ステップについて

Q1「レベルを取るために難しいターンやステップを入れる必要はありますか？」

A1「ターンやステップ、動き、曲との調和など、選手の実力を十分にアピールするポイントとして有効に活用されることを期待しております。プラス評価されるように、質の良さや曲との調和に努めてください。」

* その他

本大会での初級～2級ウェルバランスはスケートの基本習得を目的としております。

レベルにばかりとられることなく、スケート本来の技術、**出来栄え、曲との調和**を審査するためのウェルバランスとなっております。**特に曲との調和は、エレメンツの評価(GOE)でも考慮するポイントの一つですので、良い評価を得る演技を期待しております。**

また、ウェルバランスに関する問合せは一切受け付けておりません。(問合せは大会運営用)

予めご了承ください。